（特非）「環境・持続社会」研究センター（JACSES）

活動地域｜日本

開発途上地域での環境保全対策推進のための効果的かつ信頼性の高い日本の環境資金/技術協力及び国際制度推進に向けた調査研究・提言・啓発

〒107-0052
東京都港区赤坂1-4-10
赤坂三鈴ビル2階
http://jacses.org/

ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発

11/1 COP23直前セミナー

イベント/出展ブース参加人数	190人
提言の修正/発信回数	5回
今年度計画の達成度	75%
活動の全体目標に対する達成度	80%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

COP23直前セミナー開催に向けて準備を進めていたところ、解散総選挙があったため、開催直前に状況が変わる等、外部要因への対応に苦労した。

■工夫した点

立場のさらなるさまざまなステークホルダーから提言に関する意見・アドバイスをなるべく多く収集し、反映させるようにした。また、中立的な提言となるように注意した。

課題

途上国の気候変動対策推進が急務であり、先進的な環境技術普及・資金が必要とされているため、日本の環境資金/技術支援政策や国際制度の効果的推進が必要。

目標

●日本政府の国際環境協力政策・予算推進
●国連技術メカニズムと資金メカニズムの連携推進
●日本国内の国際環境協力における連携体制強化

活動内容と成果

以下の活動を実施した結果、COP23やセミナー等で発表した提言に対し一定の評価を得られ、日本の環境資金/技術協力政策進展や体制構築に寄与できた。

●COP23に参加、環境大臣を含む関係者に技術/資金支援等に関する提言発信。●メルマガ/HPにて提言・最新動向・活動報告等を発信。●技術支援政策/制度、途上国支援イニシアティブ、長期戦略等の概要・課題、提言を含むレポート発行。●議員会館でのCOP23直前セミナー及び多様なアイデアの共有・対話の場である気候変動ラウンドテーブルを開催。

COP23参加

全助成期間の活動を振り返って

弊団体のミッション・ビジョンは地球規模での環境保全と社会的公正の実現であり、地球規模での気候変動対策推進という観点から、国内対策とともに途上国の対策をどう後押しするかという課題に取り組み始めたことは非常に重要だった。また、資金面だけでなく、技術移転政策や制度に焦点を当てることができたのも、画期的だったと感じている。本助成活動で築いたネットワークを活用し、引き続きこの課題に取り組んでいきたい。

エコプロ2017出展

今後の展望

今後は途上国支援イニシアティブ等の戦略がどのように具体的施策につながっていくかが重要になってくると思うので、さまざまなステークホルダーの方々のアイデアやアドバイス等を引き続き収集し、施策に貢献するような提案を出していきたいと考えている。また、国連技術メカニズムや資金メカニズムが更に効果的に機能するように、海外のステークホルダーと連携ができるよう努めていきたい。